

1. 経済学 科

経済学科には、「経済の歴史と理論」「日本の経済システムと政策」「グローバル経済」の3コースがあり、それぞれのコースによって専門教育科目の履修方法が異なる。学生諸君は、いずれかのコースを選択し履修規程に基づいて単位を修得しなければならない。

経済の歴史と理論コース

「なぜ不況があるのか」「不況から脱出するにはどうすべきか」これらは現在でも難問である。だが、まさに経済学はこうした難問に立ち向かってきた。そうした中で生まれたのが、経済や社会の仕組みを体系的に解明するための分析道具、つまり「経済理論」である。一方、経済学は「歴史科学」でもあり、経済や社会がどのような歩みを経てきたかを解明し、その歩みの過程で生まれたさまざまな「思想」を研究する。このコースでは、理論を横系に、歴史と思想を縦系にしながら、現代の日本や国際社会が直面する経済的諸問題に対する深い洞察力を養成する。

日本の経済システムと政策コース

21世紀を迎えた日本経済は、さまざまな問題に直面している。戦後から続いてきた経済システムそのものが根底から問い直されようとしているのである。このコースは、今日の日本経済が抱える課題を財政・金融・労働などの諸側面から分析し、政策のあり方を考究する。グローバル経済の中で日本経済の国際的位置を理解するためには、諸外国の経済システムとの比較という視点も不可欠である。

グローバル経済コース

現代の経済・社会は、地球全体がひとつの経済システムとして連動している。多くの日本企業が国際的に事業展開し、いまや「外貨預金」は家計にとっても身近なものとなった。私たちのくらしはグローバル経済のなかにしっかりと組み込まれている。このコースでは、経済のグローバル化がもたらす諸問題の解明を目指す。それは、日本経済を国際的視野で見直すことでもある。

カリキュラムの構成と履修方法

専門教育科目	学部共通科目	必修科目	3科目6単位	64単位	所要単位を超えて修得した単位は、自由科目40単位に算入 次頁以下の表 ☆印科目の中より
		選択必修科目	2科目4単位 ^{注1)}		
	学科基礎科目	選択必修科目	3科目6単位		
	専門基本科目	コース別 選択必修科目	4科目8単位以上		
	学部共通科目				
	学科基礎科目				
	専門基本科目 専門応用科目 専門関連科目	自由科目	40単位 ^{注2)}		

注1) 学部共通科目のうち「基礎演習 B」は入学年度の後期のみ履修できる（次頁カリキュラム表参照）。この科目は学部必修科目に準ずる重要な科目であるため、履修を義務づけている。従って学生が履修登録をする必要はなく、全ての学生が履修登録されている。前期の「基礎演習 A」の評価が「D」または「R」の場合は後期の「基礎演習 B」を履修できないが、「基礎演習 B」の登録は解除しない。そのため当該時限にほかの科目を履修登録することはできない上、評価は「R」となるので、「基礎演習 A」は極力修得すること。

注2) 次頁以降のカリキュラム表にある「演習 I」から「サマーセミナー（演習 III）」までの演習科目は、募集期間に「演習 I」（編入生の場合は「演習 II」）に応募して合格した学生のみ受講できる。また合格した「演習 I」または「演習 II」の担当教員が開講する科目しか受講できない。教員によって開講形態は異なるが、開講する科目は年度ごとに一括して履修登録される。

	授業科目	開講	単位	開講学年				コース			備考
				1	2	3	4	経済の歴史 と理論	日本の経済 システムと 政策	グローバル 経済	
学部共通科目	日本の経済	前後	2	○							3科目6単位(必修)
	コンピュータと情報A	前後	2	○							
	基礎演習A	前後	2	○							
	基礎演習B	後期	2	○							
	コンピュータと情報B	前後	2	○							
	情報システムの基礎	前後	2	○							
	会社入門	前後	2	○							
世界の経済	前後	2	○							→1年次での履修登録必須。「基礎演習A」を修得済であること。入学初年次のみ履修できる。 →「コンピュータと情報A」を修得済であること このうち2科目4単位以上	
学科基礎科目	社会経済学入門	前後	2	○							→「経済統計の見方」を修得済であること このうち3科目6単位以上 →「世界の経済」を修得済であることが望ましい
	統計学	前後	2	○							
	経済理論入門	前後	2	○							
	経済史の基礎	前後	2	○							
	経済統計の見方	前後	2	○							
	財政の基礎	前後	2	○							
	金融の基礎	前後	2	○							
現代日本経済	前後	2	○								
専門基本科目	国際経済	前後	2	○							★を付してあるコース別指定科目より 4科目8単位以上を修得すること →「経済理論入門」を修得済であることが望ましい →「経済理論入門」を修得済であることが望ましい →「金融の基礎」を修得済であることが望ましい →「財政の基礎」を修得済であることが望ましい →「財政の基礎」を修得済であることが望ましい →「金融の基礎」を修得済であることが望ましい →「世界の経済」を修得済であることが望ましい
	日本経済思想	前後	2	○							
	経済原論	前後	2	○			★	★	★		
	マクロ経済学	前後	2	○			★	★	★		
	ミクロ経済学	前後	2	○			★	★	★		
	経済学歴史	前後	2	○			★				
	近代経済学の歴史	前後	2		○		★				
	社会経済思想	前後	2		○		★				
	日本経済史	前後	2		○		★				
	近代日本経済史	前後	2		○		★				
	西洋経済史	前後	2		○		★				
	近代西洋経済史	前後	2		○		★				
	日本経済と政策	前後	2	○				★			
	日本の金融システム	前後	2	○				★			
	地域と行財政	前後	2	○				★			
	公共部門と財政	前後	2	○				★			
	産業組織論	前後	2		○			★			
	労働経済	前後	2		○			★			
	日本の中小企業	前後	2		○			★			
	国際通貨と国際金融	前後	2	○					★		
地域経済統合	前後	2	○					★			
国際経営	前後	2	○					★			
開発経済	前後	2		○				★			
アメリカ経済	前後	2		○				★			
E U 経済	前後	2		○				★			
アジア経済	前後	2		○				★			
専門応用科目	社会保障の基礎	前後	2	○							→「経済統計の見方」を修得済であること →「社会保障の基礎」を修得済であることが望ましい →テーマが異なれば複数履修可
	計量経済学	前後	2	○							
	リスクと保険	前後	2		○						
	医療の経済	前後	2		○						
	雇用と社会政策	前後	2		○						
	農業経済	前後	2		○						
	地域と経済	前後	2		○						
	少子高齢社会と社会保障	前後	2		○						
	証券投資分析	前後	2		○						
	環境経済の基礎	前後	2	○							
	環境と経済	前後	2		○						
	企業活動と環境	前後	2		○						
	ベンチャービジネス	前後	2		○						
消費者主権の経済学	前後	2	○								
消費情報教育	前後	2		○							
経済学特論	前後	2	○								

次ページに続く

	授 業 科 目	開 講	単 位	開 講 学 年				コ ー ス			備 考
				1	2	3	4	経 済 史 と 理 論	シ ス テ ム と 日 本 の 経 済 政 策	グ ロ ー バ ル 経 済	
専 門 応 用 科 目	経 済 英 語	前後	2		○						→テーマが異なれば複数履修可
	専 門 資 格 取 得 指 導	前後	2		○						→テーマが異なれば複数履修可
	職 業 指 導	通年	4			○					
	日 本 経 済 特 別 演 習	前後	2			○					
	金 融 シ ス テ ム 特 別 演 習	前後	2			○					
	国 際 経 済 特 別 演 習	前後	2			○					
	演 習 I	後期	2		○						
	演 習 II	通年	4			○					→「演習 I」を修得済であること
	演 習 III (4)	通年	4				○				→「演習 II」を修得済であること
	演 習 III (2)	後期	2				○				→「演習 II」を修得済であること
	演 習 IV	後期	2				○				→「演習 III」を登録していること
	サマーセミナー (演習 I)	集中	2		○						→「演習 I」を登録していること
	スプリングセミナー (演習 I)	集中	2			○					→「演習 I」を登録していること
サマーセミナー (演習 II)	集中	2			○					→「演習 II」を登録していること	
スプリングセミナー (演習 II)	集中	2				○				→「演習 II」を登録していること	
サマーセミナー (演習 III)	集中	2				○				→「演習 III」を登録していること	
専 門 関 連 科 目	調 査 研 究 入 門	前後	2	○							
	ア ン ケ ー ト 調 査 入 門	前後	2	○							
	ア ン ケ ー ト 調 査	通年	4		○						→「アンケート調査入門」を修得済であること
	環 境 ・ 開 発 問 題 入 門	前後	2		○						
	地 域 社 会 問 題 入 門	前後	2		○						
	情 報 シ ス テ ム	前後	2		○						
	情 報 メ デ ィ ア 問 題 入 門	前後	2		○						
	ス タ デ ィ ヲ ア ー	集中	2	○							
	フ ィ ー ル ド ワ ー ク 入 門 (環 境 ・ 開 発) 1)	前後	2		○						
	フ ィ ー ル ド ワ ー ク (環 境 ・ 開 発) 2)	通年	4			○					→「フィールドワーク入門 (環境・開発)」を修得済であること
	フ ィ ー ル ド ス タ デ ィ 入 門 (環 境 ・ 開 発) 1)	前後	2		○						
	フ ィ ー ル ド ス タ デ ィ (環 境 ・ 開 発) 2)	通年	6			○					→「フィールドスタディ入門 (環境・開発)」を修得済であること
	環 境 ・ 開 発 問 題	前後	2		○						→テーマが異なれば複数履修可
	N G O ・ N P O と 社 会	前後	2			○					
	国 際 協 力 と 援 助	前後	2			○					
	フ ィ ー ル ド ワ ー ク 入 門 (地 域 社 会) 3)	前後	2		○						
	フ ィ ー ル ド ワ ー ク (地 域 社 会) 4)	通年	4			○					→「フィールドワーク入門 (地域社会)」を修得済であること
	フ ィ ー ル ド ス タ デ ィ 入 門 (地 域 社 会) 3)	前後	2		○						
	フ ィ ー ル ド ス タ デ ィ (地 域 社 会) 4)	通年	6			○					→「フィールドスタディ入門 (地域社会)」を修得済であること
	地 域 社 会 問 題	前後	2		○						→テーマが異なれば複数履修可
	ま ち づ く り と 市 民	前後	2			○					
	コ ン プ ュ ー タ と 情 報 C I	前後	2		○						→ (データベース) 「コンピュータと情報A・B」を修得済であること
	コ ン プ ュ ー タ と 情 報 C II	前後	2		○						→ (ネットワークの活用) 「コンピュータと情報A・B」を修得済であること
	コ ン プ ュ ー タ と 情 報 C III	前後	2		○						→ (プレゼンテーション技法) 「コンピュータと情報A・B」を修得済であること
	コ ン プ ュ ー タ と 情 報 C IV	前後	2		○						→ (コンテンツ制作演習) 「コンピュータと情報A・B」 及び「マルチメディア表現と技術」を修得済であること
	情 報 通 信 ネ ッ ト ワ ー ク	前後	2		○						→「コンピュータと情報A」を修得済であること
	マ ル チ メ デ ィ ア 表 現 と 技 術	前後	2		○						→「コンピュータと情報A」を修得済であること
	情 報 処 理 の 基 礎	前後	2		○						→「コンピュータと情報A」を修得済であること
	情 報 メ デ ィ ア 問 題 演 習	前後	2		○						→「情報メディア問題入門」を修得済であること
	ネ ッ ト ワ ー ク 型 組 織	前後	2			○					
情 報 倫 理 と セ キ ュ リ テ ィ	前後	2			○						
情 報 社 会 と 職 業	前後	2			○						
法 情 報 学	前後	2			○						
地 方 自 治 I	前後	2			○						
地 方 自 治 II	前後	2			○						
コ ン プ ュ ー タ と 情 報 D I	前後	2			○					→ (ネットワーク管理とセキュリティ) 「コンピュータと情報A・B」 及び「情報通信ネットワーク」を修得済であること	
コ ン プ ュ ー タ と 情 報 D II	前後	2			○					→ (シミュレーション・グラフィックス) 「コンピュータと情報A・B」 及び「情報処理の基礎」を修得済であること	
プ ロ グ ラ ミ ン グ 技 法	前後	2			○					→「コンピュータと情報A・B」及び「情報処理の基礎」を修得済であること	
プ ロ グ ラ ミ ン グ 演 習	前後	2			○					→「コンピュータと情報A・B」と「情報処理の基礎」 及び「プログラミング技法」を修得済であること	

- 1) フィールドワーク入門 (環境・開発) とフィールドスタディ入門 (環境・開発) は毎年いずれかが開講される。
- 2) フィールドワーク (環境・開発) とフィールドスタディ (環境・開発) は毎年いずれかが開講される。
- 3) フィールドワーク入門 (地域社会) とフィールドスタディ入門 (地域社会) は毎年いずれかが開講される。
- 4) フィールドワーク (地域社会) とフィールドスタディ (地域社会) は毎年いずれかが開講される。

次ページに続く

授 業 科 目	開 講	単 位	開 講 学 年				コ ー ス				備 考
			1	2	3	4	経 済 史 と 理 論	シ ス テ ム 政 策 日 本 の 経 済	グ ロ ー バ ル 経 済		
福 祉 社 会 と 情 報	前 後	2			○						
経 営 理 論 入 門	前 後	2	○								
現 代 の 企 業 経 営	前 後	2	○								
簿 記 と 財 務 報 告 A	前 後	2	○								
簿 記 と 財 務 報 告 B	前 後	2	○								
財 務 会 計	前 後	2		○							
経 営 情 報 の 開 示	前 後	2	○								
企 業 問 題 入 門	前 後	2		○							
経 営 管 理	前 後	2			○						
経 営 戦 略 の 基 礎	前 後	2		○							
経 営 組 織	前 後	2		○							
企 業 財 務 の 基 礎	前 後	2		○							
人 事 管 理	前 後	2			○						
マ ー ケ テ ィ ン グ	前 後	2			○						
コーポレート・コミュニケーション	前 後	2			○						
流 通 シ ス テ ム	前 後	2			○						
財 務 諸 表 分 析	前 後	2			○						
応 用 財 務 会 計	前 後	2			○						
原 価 計 算	前 後	2			○						
予 算 管 理	前 後	2		○							
コ ン ピ ュ ー タ 会 計	前 後	2			○						
公 会 計	前 後	2		○							
フィールドワーク入門（企業）5	前 後	2		○							
フィールドワーク（企業）6	通 年	4			○						
フィールドスタディ入門（企業）5	前 後	2		○							
フィールドスタディ（企業）6	通 年	6			○						
経 営 特 別 演 習	前 後	2			○						
会 計 特 別 演 習	前 後	2			○						
憲 法	通 年	4		○							
民 法 I	前 後	2			○						
民 法 II	前 後	2			○						
商 法 I	前 後	2			○						
商 法 II	前 後	2			○						
経 営 史	前 後	2		○							
生 産 管 理	前 後	2			○						
組 織 行 動	前 後	2			○						
研 究 開 発 マ ネ ジ メ ン ト	前 後	2			○						
消 費 者 と 広 告	前 後	2			○						
企 業 監 査	前 後	2			○						
税 務 会 計	前 後	2			○						
国 際 会 計	前 後	2			○						
経 営 学 特 論	前 後	2	○								
会 計 学 特 論	前 後	2	○								
日 本 経 営 史	前 後	2		○							
マ ー ケ テ ィ ン グ の 基 礎	前 後	2		○							
日 本 史 概 論 I	前 後	2	○								
日 本 史 概 論 II	前 後	2	○								
東 洋 史 概 論 I	前 後	2	○								
東 洋 史 概 論 II	前 後	2	○								
西 洋 史 概 論 I	前 後	2	○								
西 洋 史 概 論 II	前 後	2	○								
社 会 学 A	前 後	2			○						
社 会 学 B	前 後	2			○						
政 治 学 概 論	前 後	2			○						
国 際 法 の 基 礎	前 後	2		○							
国 際 紛 争 処 理 法	前 後	2			○						
国 際 政 治 A	前 後	2		○							
国 際 政 治 B	前 後	2		○							

専 門 関 連 科 目

→「簿記と財務報告A」を修得済であること
→「簿記と財務報告A」を修得済であること

→「マーケティングの基礎」を修得済であることが望ましい

→「簿記と財務報告A」を修得済であること
→「簿記と財務報告A」及び「財務会計」を修得済であること
→「簿記と財務報告A」を修得済であること
→「簿記と財務報告A」を修得済であること
→「簿記と財務報告A」を修得済であること

→「フィールドワーク入門（企業）」を修得済であること

→「フィールドスタディ入門（企業）」を修得済であること

→「簿記と財務報告A」を修得済であること
→「簿記と財務報告A」を修得済であること
→「簿記と財務報告A」及び「財務会計」を修得済であること
→テーマが異なれば複数履修可
→テーマが異なれば複数履修可

5) フィールドワーク入門（企業）とフィールドスタディ入門（企業）は毎年いずれかが開講される。
6) フィールドワーク（企業）とフィールドスタディ（企業）は毎年いずれかが開講される。
○で示す開講学年で履修することが望ましい。ただし、履修学年に制限がない限り、当該学年以降でも履修することができる。